

事業所名		みらせんジュニア 熱田教室		公表日 2026年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	現状・工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点 など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		法令に則った適切なスペースである
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		全職員常勤職員なので手厚い支援をお届けできていると思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		作業を通じた支援で一貫しているため、わかりやすい構造になっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		5Sを意識し日々過ごしやすい環境を提供できるように努めている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		使用にあたっては職員が状況を把握した上で安全面に配慮し、適切に見守りをを行っている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		支援記録、業務日報を基に目標設定や振り返りを行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年度末に評価表の結果を全職員に周知している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼、終礼にて情報共有や月一回以上の会議を通して日々業務改善に努めている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部評価は行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎月一回以上の職員の資質の向上を目的とした研修を行っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		一年に一度公表している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		本人やご家族の方にはしっかりアセスメントをとり、計画をたてている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児発管の意見だけでなく、現場スタッフの意見も取り入れ検討している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		共有し、計画に沿った支援を行っている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		標準化したアセスメントツールにより聞き取りを行っている 変更あった時はその都度更新している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		本人支援、家族支援、移行支援の項目は設定しているが、地域支援や地域連携の項目は積極的に設定することができていない 企業様へのインターンシップが強みなのでそれを地域連携としている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		チームで行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		様々な作業の提案、作業以外にも利用者が独自に立てた計画を基に実行するお出かけクエスト、イベントなどのプログラムを実行している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別の作業だけではなく、状況に応じてグループワークの提案や協力企業様とも関わる機会を設けている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝打ちにてその日の役割分担を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		業務日報や支援記録を基に終礼の時間を設け共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日業務日報や支援記録にて支援の検証・改善につなげている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の振り返りや見直しを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		枯渇しないように基本活動を組み合わせ、様々な作業の提案をしている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		困ったときや相談があった時はすぐに答えず、自身で考える機会を促し、自己決定する力につなげている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者にかかわらず、児童指導員にも参画してもらっている

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	月1回行われる児童部会にて、地域の関係機関との情報交換を行っている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	学校と直接ではないが、利用者からの共有で把握することができている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	主に中高生の利用者が多いため、そういった共有の機会がない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	同法人内の移行であれば情報提供できている そうでない場合は移行先や相談員さんによる連携の提案があれば共有に場を設けている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	協議会で話す機会があるので、助言や見学会等の機会をいただいている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	現状ない 必要であれば今後検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	開催される時は必ず参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	利用のあった日には支援記録にて情報共有を行っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	定期的に開催している
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	契約時に適切に説明、対応している
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	保護者や利用者の気持ちを最優先に考え、日々支援に取り組んでいる
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	その都度、電話や保護者の方との連絡ツールである公式LINEにて助言等を行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	保護者会やセミナー等を開催し、交流の場を設けているが、きょうだい同士の交流の機会はない 需要があれば検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	苦対対応窓口を設けて適切に対応を行っている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	毎月おたよりの発行、毎週インスタグラムの更新、HPのブログの更新も行なっている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	個別ファイルは鍵付きのロッカーで保管している SNSで発信する際は十分に気をつけて発信している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	利用者の特性、ご家庭の状況などを考慮、把握したうえで意思疎通を行っている
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	ご家族様に向けた発信はできているが、地域の方への発信はできていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	契約時に説明を行っている 毎月防災訓練や避難訓練を実施している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	作成し、それに準じた定期的な研修や訓練を行っている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	アセスメント時に確認をとっている
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	アセスメント時に対応方法を聞き、職員に周知している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	安全計画は作成し、毎月安全管理の確認を行っている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	安全計画は作成してあるが、周知が不十分なので改善に努めていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	毎月会議で共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	毎年一回以上の職員研修と法人全体で委員会を実施している
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	契約時に説明を行い 必要な場合は個別支援計画に記載している 重要事項説明書にも記載あり	